

平瀬委員からのご質問に関する回答について (燃料費)

2023年4月11日
北海道電力株式会社

【重油発電において環境負荷を減らすために行ってきた取り組みについて】

- 当社の各重油発電所では環境負荷を減らすため、地元市町村と公害防止協定を締結のうえ、ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物の排出量の基準を設定し、遵守するよう発電所の運用を行っています。
- 特に高硫黄重油（硫黄分3.6%）を使用している知内発電所2号機は、低硫黄重油を使用している苫小牧発電所、伊達発電所1・2号機、知内発電所1号機と同等以下の硫黄酸化物の排出基準を定めており、脱硫設備を設置するなど環境負荷低減への対応を行っています。

【原価算定期間にて織り込まれている重油の脱硫コストについて】

- 知内発電所2号機の脱硫にかかるコストは5億円程度／年であり、知内発電所2号機の燃料調達単価に対する比率は2%程度となっています。
- これらの脱硫コストを考慮しても、低硫黄重油より高硫黄重油の方が安価となっています。

<脱硫コスト>

項目	概要	脱硫コスト（億円） （3ヶ年平均）
委託費	脱硫設備の維持・運用に係る運転委託費	0.5
修繕費・減価償却費	脱硫設備の保守・修繕費・減価償却費	1.3
廃棄物処理費	脱硫に係る薬品費（石灰石）	2.8
計		4.6

<重油単価比較>

		（円/kl）
	当社 高硫黄重油	当社 低硫黄重油
再算定 調達価格	87,898	102,893
脱硫コスト （2%程度）	1,514	—
計	89,412	102,893

<

脱硫コストを考慮しても高硫黄重油の方が安価